

国際医療リスクマネージメント学会

医療安全臨床コミュニケーター養成研修会2015 (上級コース)

---医療事故時のクライシスコミュニケーション専門家の育成 ---

主催者の挨拶

医療事故・医療過誤での医療機関の対応のみならず、広く医療ミス発生時の院内対応には、クライシスに対するマネージメント、コミュニケーション、そしてガバナンスの諸観点が不可欠です。これらの不適切な対応は、 患者・家族の強い悲しみを引き起こし、当該医療機関の社会的信用度を大きく失墜しています。

中でも、クライシス・コミュニケーションのエラーは患者・家族そして一般社会の強い不信の主原因であり、 社会に貢献したいという医療機関の希望と使命と相反し、医療者と社会の双方にとって悲惨な結末に至っていま す。

患者・家族・社会のニーズに対応し、かつ医療事故時のコミュニケーションの失敗と成功の事例に関して、合理的に収集、整理、共有するにはどのような点に配慮を検討する必要があるのでしょうか。この難問に答えるために、以上を踏まえて、今年度から「医療安全のための学会認定臨床コミュニケーター(上級)」資格制度を実施します。この資格の目的は、医療安全分野における臨床クライシスコミュニケーションに関する高度な臨床家を育成し、臨床現場での難解な臨床クライシスコミュニケーションの諸問題を解決するリーダーとして、安全で信頼される医療を推進することです。

今回のプログラムでは、臨床講義、ロールプレイやグループワークを取り入れ、体験的に臨床クライシスコミュニケーションの方法について学習します。

本修会により、あなたの医療機関により高度な安全文化と患者・家族からの納得と信頼が構築できます。

なお、医療安全文化の向上には、より高度な知識と機能を有する高度医療安全管理者が不可欠です。そこで、本年度から日本医療安全学会の協力の下、学会認定「高度医療安全管理者」資格制度が開始されます。本プログラムはこの認定資格取得における必須科目でもあります。

2015年7月

酒井 亮二 (国際医療リスクマネージメント学会理事長)

主催者一同